

編集後記

まずはテーマレクチャーの飯塚先生、萬屋先生をはじめとする執筆者の皆様に深く感謝申し上げます。皆様のおかげで哲学若手研究者フォーラム論文誌『哲学の探求』第49号を無事発刊することができました。収録されているいずれの論文も推敲に推敲を重ねて執筆されており、それらからなる第49号の発刊に編集として携われたことを誇りに思います。また、編集に協力していただいた編集協力者の皆様ならびに本年度のもう一人の編集担当である雨森さんにもお礼申し上げます。皆様の丁寧な校正とコメントが各論文をいっそう素晴らしいものにしたことは疑うべくもありません。

本年度の編集作業について少しばかり振り返ってみると、本年度はほぼスケジュール通りに『哲学の探求』の編集作業を進められたおかげで3月中の発刊が実現できました。論文が即座に出版されることはしばしば若手研究者にとって重要事であるため、一人の若手研究者としてこの時期に発刊できたことをうれしく思います。もちろんこれが実現できたのは編集協力者の皆様のおかげに他なりません。タイトなスケジュールの中での丁寧な校正作業に改めてお礼申し上げます。なお、編集内容についてはほぼ例年通りですが、今年は『哲学の探求』の用紙サイズをB5からA4へと変更しています。これにより少しでも本誌の可読性が向上していれば幸いです。

最後に、論文執筆者の皆様、編集協力者の皆様、本フォーラム運営委員の皆様、本誌および本フォーラムを支えてくださった全ての皆様に改めて厚くお礼申し上げます。

『哲学の探求』49号編集担当 澤崎高広

『哲学の探究』49号の発行にご協力いただいた皆様ならびにご覧いただいている皆様に、感謝申し上げます。特に、萬屋先生、飯塚先生をはじめとする12名の執筆者の皆様、有志の編集協力者の皆様には、大変お世話になりました。ありがとうございました。

この編集業務は、私が哲学若手研究者フォーラム運営委員として携わる最初の仕事となりました。右も左も分からない中で、作業をスムーズに進めることができたのは、ひとえに、同じ編集担当の澤崎さんのおかげです。スケジュールの確認や仕事の割り振りなどで大変助けていただきました。澤崎さんにも、この場を借りて感謝申し上げます。

ご投稿いただいた原稿はどれも充実した内容でバラエティに富んでおり、編集をしながら私も大いに刺激を受けました。また、編集協力者の方々には、校正のたびに丁寧なコメントをいただき、たいへん助けられました。関係者の皆様のご協力と努力の結晶である本誌が、ご覧いただいた方にとっても実りあることを祈ります。

来年度で『哲学の探究』は50号という一つの節目を迎えます。49号分の積み重ねの上に、変わらず良い論文誌を作ることができるよう精進してまいりますので、来年度も『哲学の探究』をどうぞよろしくお願いたします。

最後に、『哲学の探究』49号の完成にお力を貸してくださった全ての皆様と、ご覧いただいている皆様に、もう一度お礼を申し上げます。ありがとうございました。

『哲学の探究』49号編集担当 雨森春香